

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 16 年 9 月 24 日 (2004.9.24)

【公開番号】特開 2002-205710 (P2002-205710A)

【公開日】平成 14 年 7 月 23 日 (2002.7.23)

【出願番号】特願 2001-8 (P2001-8)

【国際特許分類第 7 版】

B 6 5 B 31/04

B 6 5 B 9/06

【F I】

B 6 5 B 31/04 F

B 6 5 B 9/06

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 9 月 10 日 (2003.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被包装物を等間隔に收容するチューブフィルムの移送軌道を隔て配置した一対の可動ブロックにより、前記チューブフィルムを前記各被包装物の間において挟圧し、該両可動ブロック内それぞれに設置したシールバー間の常設間隙を通して前記チューブフィルム内の空気吸引を行うと共に、前記チューブフィルム切断部を前記両シールバーの接近により加熱シールする装置であつて、前記両可動ブロックは、それぞれの対向部に前記各シールバーを收容するスカート部を備えると共に、チューブフィルムの進行方向側の前記スカートに多数のトンネルを形成し、該スカート内に形成した各通路を介して前記各トンネルとサブ真空ラインとを連結してチューブフィルムを前記各トンネル壁に吸着する手段と、前記チューブフィルム切断のための切断刃を前記一侧のシールバーに設置する一方、他側のシールバーに、前記切断刃を進入させる刃受溝を形成し、この刃受溝を介して、前記各トンネル壁に吸着したチューブフィルム内の空気流通路をメイン真空ラインに連通させる手段とを備え、前記サブ真空ライン及び前記メイン真空ラインをそれぞれ第 1、第 2 開閉弁を介し、真空タンクに接続する装置。

【請求項 2】

一侧のシールバー内部に設置するスライド切断刃を、他側シールバーにおける刃受け溝内に押し込んで切断開口した前記チューブフィルム内の空気流通路を、前記両シールバー間の常設間隙を通じてメイン真空ラインに連通させたあと、一対のシールバーの相対接近により前記チューブフィルムの切断開口部を溶着する請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

一対の可動ブロックによるチューブフィルム挟圧動作に対応し、サブ真空ラインと真空ポンプとの間に設置する第 1 開閉弁を開放し、その後メイン真空ラインと真空ポンプとの間の第 2 開閉弁を開放する請求項 1 に記載の装置。